

発言者	内容
司会（会長）	美術科の教科用図書について審議する。 開隆堂についていかがか。
委員	教科書の表紙の鮮やかなタイルやゴッホの作品の表面のマチエールなどの筆跡を見て、触って、楽しめる工夫がある。 小学校で学んだことの積み上げとして、どのような学習をしていくかなどのめあてがわかりやすい。
委員	わかりやすくめあてが整理され、見通しをもって学習に取り組みやすい。 二次元コードも表示されてわかりやすい。 内容も学習の見通しを立てるのに役立つ内容である。 アイデアシートなど授業で活用しやすく、主体的で自由に発想や構想を膨らませることができる構成である。
委員	各ページの情報量が多いのが課題ではないか。 様々な視点で作品を紹介するなど、丁寧に作品が取り上げられている。 よって、自由に発想や構想を膨らませるのでよいのではないか。
司会（会長）	教科書としてまとまっている。 表紙が特徴的である。 版画では、作家の作品と生徒作品が比較されており、丁寧に説明されている。 風神雷神の扱いも適切だと感じる。
司会（会長）	光村図書についていかがか。
委員	吹き出しにより、生徒が主体的に考え話し合える工夫がみられる。 「みんなの工夫」では、技術的な内容にも触れられていて、作品作りを進めやすい。デジタルコンテンツの種類が豊富であるのも魅力である。
委員	デジタルコンテンツが充実しており、わかりやすく活用しやすい。 文字で楽しく伝えるではレタリングに関する内容が教科書にはなく、やや制作や授業の流れがわかりづらい。
委員	別冊にまとまっているのは、見やすい。
司会（会長）	日本の絵では、日本の絵画を楽しむキーワードを出して、鑑賞できるような工夫がみられる。仏像についても、阿修羅像について焦点をあてて説明をしているところがよい。また、ゲルニカについても鑑賞ができるように解説がある。資料も含めて3冊の教科書と考える。

司会（会長）	日本文教出版についていかがか。
委員	各單元における注目してもらいたい作品が他の作品より、大きく取り上げられている。 色彩や技法などがまとめられているが、各單元において制作過程がイメージしにくい。
委員	文字のもつ伝達機能について詳しく取りあげられており、レタリングについて学びやすい。 観点、学びの目標が示されており、見通しをもって学習を進められる。 デジタルコンテンツもわかりやすい。
委員	二年の上下、3分冊となっているのは便利なのか。
司会（会長）	2・3年で1冊のところをあえて2冊にしている。掲載する量と分厚さや重さに配慮したのだろうか。 絵や彫刻の導入については、生徒の作品から導入しているのが良い。
司会（会長）	総括をする。 以上のことより、開隆堂を1番に、光村図書を2番に推薦する。